

薬剤師確保に関するアンケート結果について

平成28年11月28日
医療指導課

県内の薬剤師不足の実態を把握するため、県内の病院・薬局を対象にアンケート調査を実施した。前回調査から約2年ぶりの調査であったが、薬剤師の不足状況に改善は見られず、全体としては、むしろ需要増の傾向が見られた。

【概要】

- 今年4月以降に、新たに薬剤師を採用した施設の数、計39施設(病院:13施設、薬局26施設)であり、採用人数は、計46.4人(病院:17.8人、薬局:28.6人)であった。うち新人薬剤師は、29.1人であった。(人数は常勤換算人数)
- 薬剤師の需要は、全県で255人(早急に必要:128.4人、将来的に必要な:126.6人)であった。前回調査の230人比べて増加しており、特に、西部地区の薬局での需要増が目立った。一方で、西部地区の病院での将来的必要人数は減少した。
- 早急に薬剤師が必要な施設は、全県で107施設(病院:23、薬局:84)であり、前回調査の80施設から増加した。
- アンケートでは、薬剤師の退職補充ができていない施設、薬剤師確保のため定年延長などにより対応している施設、数年内に定年を迎える薬剤師のいる施設など、逼迫した状況が見受けられた。

※「早急に必要」とは、概ね1年以内を、「将来的」とは概ね5年以内としてアンケートを実施。(今年度)

1 調査時点 平成28年9月1日 (参考)前回調査:平成26年10月1日

2 対象・回収率

前回調査に比べ、薬局において若干回収率が低下したが、ほぼ同程度であり、地域差もなかった。

	病院	病院の内訳			薬局	薬局の内訳			計
		東部	中部	西部		東部	中部	西部	
対象数	44	14	10	20	271	97	56	118	315
回答数	44	14	10	20	194	70	39	85	238
回収率	100%	100.0%	100.0%	100.0%	71.6%	72.2%	69.6%	72.0%	75.6%

(参考)前回回収率 100% 74.1% 77.8%

3 薬剤師の配置人数(常勤換算後) ※その他休業中29人あり。(H28.9.1現在)

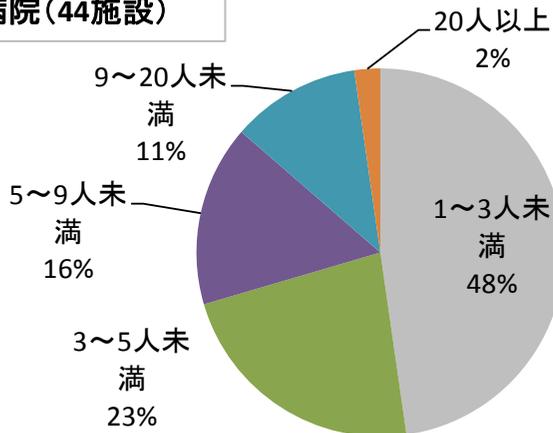
前回調査に比べ、病院において人数が増加した。薬局は変わりなし。(単位:人)

	病院	病院の内訳			薬局	薬局の内訳			計
		東部	中部	西部		東部	中部	西部	
常勤換算(人)	236	88.5	34.2	113	481	188.8	91.2	201.4	717

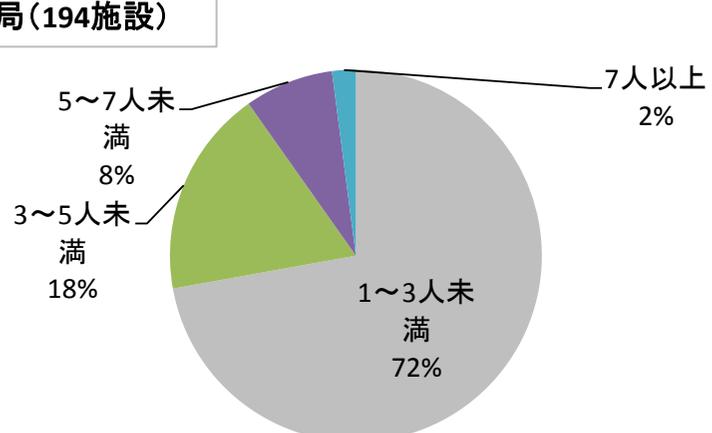
(参考)前回人数 222 480 702

※配置人数毎の施設割合 病院の約半数、薬局の約3/4は、薬剤師3人未満で業務を行っている。

病院(44施設)



薬局(194施設)



4 平成28年度採用実績(常勤換算) (平成28年4月1日から9月1日)

今年4月以降に、新たに薬剤師を採用した施設の数、計39施設(病院:13施設、薬局26施設)であり、採用人数は、計46.4人(病院:17.8人、薬局:28.6人)であった。

うち新人薬剤師は、29.1人(県内出身者:20.6人、県外出身者:8.5人)であった。

前回調査とは若干期間が異なるが、病院での採用数は同程度、薬局での採用数は若干少なかった。

(単位:人)

	病院	病院の内訳			薬局	薬局の内訳			計
		東部	中部	西部		東部	中部	西部	
採用施設数	13施設	5施設	3施設	5施設	26施設	8施設	5施設	13施設	39施設
採用人数	17.8	7	2.8	8	28.6	12.1	5	11.5	46.4
うち新規免許取得者	11.8	6	0.8	5	17.3	8.3	2	7	29.1
県内出身者	7.8	3	0.8	4	12.8	6.8	1	5	20.6
県外出身者	4	3	0	1	4.5	1.5	1	2	8.5
前年度からの増員数	11.5	4	0.8	6.7	20.9	9	3.8	8.1	32.4

(参考:前回結果) H26.4.1~H26.10.1までの採用

採用施設数	9施設	33施設	42施設
採用人数	17	34	51

5 薬剤師の需要(常勤換算)

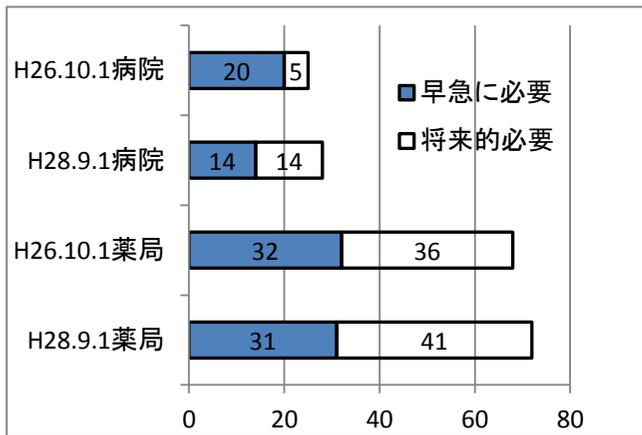
(単位:人)

	病院	病院の内訳			薬局	薬局の内訳			計
		東部	中部	西部		東部	中部	西部	
早急(1年以内)	41.3	14	12	15.3	87.1	31.2	16	39.9	128.4
将来的(5年程度)	32	14	4	14	94.6	41	16.5	37.1	126.6
計	73.3	28	16	29.3	181.7	72.2	32.5	77	255

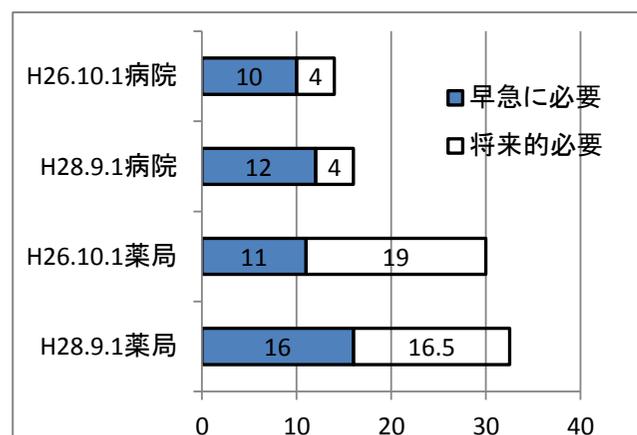
(参考)前回結果

早急	42	20	10	12	65	32	11	22	107
将来的	39	5	4	30	84	36	19	29	123
計	81	25	14	42	149	68	30	51	230

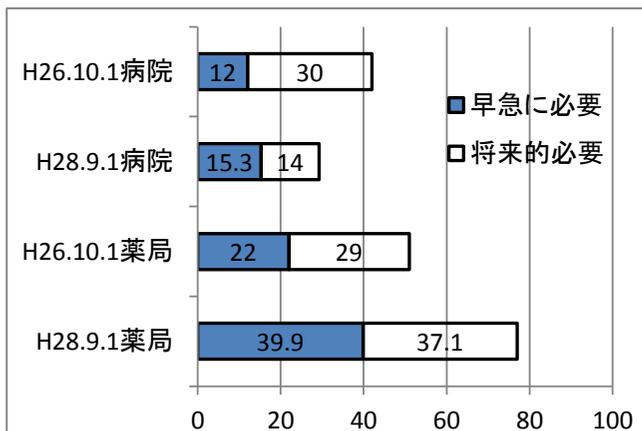
【東部】



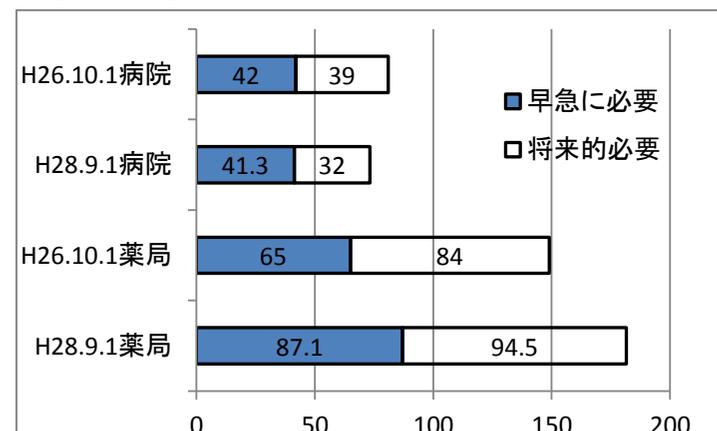
【中部】



【西部】



【県全体】



6 早急に薬剤師の採用が必要な施設の状況

(単位:施設数)

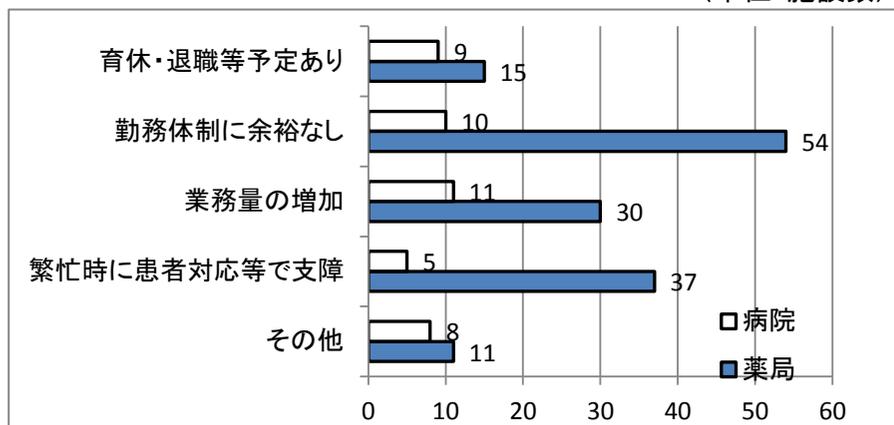
	病院	病院の内訳			薬局	薬局の内訳			計
		東部	中部	西部		東部	中部	西部	
1人未満	1	0	0	1	23	7	4	12	24
1～2人未満	13	3	3	7	52	16	9	27	65
2～3人未満	4	1	1	2	8	4	2	2	12
3～4人未満	3	3	0	0	0	0	0	0	3
4～5人未満	1	0	0	1	1	1	0	0	2
5人以上	1	0	1	0	0	0	0	0	1
計	23	7	5	11	84	28	15	41	107

(参考) 前回結果

1人未満	1	1	0	0	19	7	3	10	20
1～2人未満	9	3	3	3	32	14	7	11	41
2～3人未満	4	1	1	2	10	7	0	3	14
3～4人未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4～5人未満	1	1	0	0	0	0	0	0	1
5人以上	4	2	1	1	0	0	0	0	4
計	19	8	5	6	61	28	10	24	80

7 主な不足理由(早急に採用が必要な理由)

(単位:施設数)



*「その他」の理由例

<病院>

- ・業務の充実(服薬指導加算算定等)
- ・時間外勤務の削減、年休取得確保

<薬局>

- ・業務の充実(学校薬剤師活動等)
- ・新規薬局開設予定
- ・時間外勤務の削減

<参考> 本県の薬剤師確保の取組

(1) 鳥取県薬剤師確保対策推進事業(補助事業)(鳥取県薬剤師会・県)

○薬学部設置大学の就職ガイダンスへの参加

【実績】H24年度:5大学、H25年度:4大学、H26年度:4大学、H27年度:4大学、H28年度:3大学(12月時点)

○薬剤師募集の広報・チラシ等作成・配布

○未就業者登録・マッチング事業、復職支援プログラムの実施

○高校生向け薬学部・薬剤師紹介セミナーの実施(H27年度～)

薬科大学から講師を招き、薬学部のカリキュラムや授業の紹介、就職状況などを紹介してもらうとともに、県内の若手薬剤師の発表などを通じて、高校生やその関係者に薬学部や薬剤師の知識を深めてもらう。

【実績】平成27年度 66名(高校生36名・保護者等30名)

平成28年度 51名(高校生28名・保護者等23名)

(2) 薬剤師無料職業紹介所の開設(鳥取県薬剤師会)

(3) 薬学教育6年制における実務実習の受入薬局・病院の確保(薬剤師会及び病院薬剤師会)

県出身薬学生のUターン就職が期待される「ふるさと実習」を推進。

【実績】平成24年度 病院:21人 薬局:17人、平成25年度 病院:22人 薬局:13人

平成26年度 病院:19人 薬局:17人、平成27年度 病院:23人 薬局:21人

平成28年度 病院:22人 薬局:22人

(4) 薬学生サマーセミナーの実施(H26年度～)(県)

県内の病院・調剤薬局での薬剤師のチーム医療への関わり、在宅医療などへの取組等の現場体験を通して、卒業後の進路検討の参考としてもらい、県内就業を促進。

【実績】平成26年度 薬学生 :10人(大学数:5)、受入施設:10施設(病院7・薬局1・県機関2)

平成27年度 薬学生 :33人(大学数:16)、受入施設:13施設(病院7・薬局3・県機関3)

平成28年度 薬学生 :28人(大学数:15)、受入施設:17施設(病院11・薬局3・県機関3)